

平成26年度社会福祉法人喜多方市社会福祉協議会事業報告

1. 法人の運営

(1) 理事会・評議員会・監事会の開催

【理事会】

- 平成26年 5月29日 ○平成25年度事業報告について
○平成25年度一般会計収支決算、地域包括支援センター特別会計収支決算、災害ボランティアセンター特別会計収支決算について
○評議員の選任について
※出席者 理事13名、監事1名
- 平成26年 7月 1日 ○会長、副会長の選任について
○苦情解決のための第三者委員の委嘱について
※出席者 理事15名、監事1名
- 平成26年12月25日 ○平成26年度上期事業並びに収支状況について
○平成26年度社会福祉事業会計収支補正予算（第1次）（案）について
※出席者 理事14名、監事1名
- 平成27年 3月25日 ○小口生活援助資金の不能欠損について
○平成26年度社会福祉事業会計収支補正予算（第2次）（案）について
○定款の一部改正について
○定款施行細則の一部改正について
○会員規程の一部改正について
○福祉活動支援金制度に関する規程の制定について
○事務局規程の一部改正について
○給与規程の一部規制について
○パート職員の一部改正について
○小口生活援助資金貸付規程の一部改正について
○平成27年度事業計画（案）について
○平成27年度社会福祉事業会計収支予算（案）について
○評議員の選任について
※出席者 理事11名、監事2名

【評議員会】

- 平成26年 5月29日 ○平成25年度事業報告について
○平成25年度一般会計収支決算、地域包括支援センター特別会計収支決算、災害ボランティアセンター特別会計収支決算について

- 理事の選任について（補欠）
※出席者 評議員 23名、会長、常務理事
- 平成26年 6月16日 ○理事の選任について
- 監事の選任について
※出席者 評議員 26名、会長、常務理事
- 平成26年12月25日 ○平成26年度上期事業並びに収支状況について
- 平成26年度社会福祉事業会計収支補正予算（第1次）
（案）について
※出席者 評議員 27名、会長、常務理事
- 平成27年 3月25日 ○小口生活援助資金の不能欠損について
- 平成26年度社会福祉事業会計収支補正予算（第2次）
（案）について
- 定款の一部改正について
- 定款施行細則の一部改正について
- 会員規程の一部改正について
- 福祉活動支援金制度に関する規程の制定について
- 事務局規程の一部改正について
- 給与規程の一部規制について
- パート職員雇用管理規程の一部改正について
- 小口生活援助資金貸付規程の一部改正について
- 平成27年度事業計画（案）について
- 平成27年度社会福祉事業会計収支予算（案）について
※出席者 評議員 27名、会長、常務理事

【監事会】

- 平成26年 5月15日 ○平成25年度事業報告並びに一般会計収支決算、地域包括支援センター特別会計収支決算、災害ボランティアセンター特別会計収支決算についての監査
※出席者 監事 2名、会長、常務理事
- 平成26年12月16日 ○平成26年度上半期業務執行状況及び財産の状況についての中間監査について
※出席者 監事 1名、会長、常務理事

(2) 正副会長会議の開催

理事会、評議員会の提出議案について協議を行った。

平成26年 5月22日

平成26年12月16日

平成27年 3月18日

(3) 運営、管理体制の充実

本・支所連絡調整会議（週1回開催）、管理者会議（月1回開催）
本・支所ごとに職員会議等を定期的に開催し、情報の共有化を図ると共に抱えている課題の解決策の検討、研修による資質向上に努めた。

(4) 内部監査の実施

社会福祉事業会計並びに本協議会が事務局として会計を担っている福祉団体等の会計について、内部監査を実施した。

平成26年12月 4日（熱塩加納支所、山都支所、高郷支所）

平成26年12月 5日（塩川支所）

平成26年12月 9日（本所）

(5) 青木会計による会計指導

平成26年 5月 7日 ○平成25年度決算に係る会計指導

平成26年12月 5日 ○平成26年度上期決算に係る会計指導

平成26年12月13日 ○平成26年度上期決算に係る会計指導

(6) 苦情解決第三者委員打合せ会の開催

苦情解決第三者委員との打合せ会を平成26年12月3日に開催した。

※出席者 第三者委員3名、常務理事、事務局長、苦情受付担当者等

(7) 役員・評議員研修会の実施

先駆的な地域福祉事業を展開している社会福祉協議会へ視察研修を行った。

平成26年9月5日

視察先 会津若松市社協、南会津町社協

参加者 18名

(8) 福島県社会福祉大会への参加

日時 平成26年11月19日

会場 「福島県文化センター」

参加者 会長、副会長、理事等 計 8名

表彰者 福島県社会福祉大会会長表彰 5名

(9) 社協賛助会員の拡充

8月に会社・個人に加入依頼のため訪問し、新規に57件（693,000円）の会社・個人にご賛同頂いた。

(10) 財政基盤の確立

自主財源としての会員会費制度の充実、賛助会員会費制度の拡充に努めた。

一般会員会費 7,216,250円（昨年度：7,693,550円）

賛助会員会費 2, 234, 000円（昨年度：1,516,000円）

(11) 職員の資質向上

厚生労働省の外郭団体である社会福祉法人福利厚生センターが主催する海外研修に、職員を派遣した。

派遣職員 主幹兼地域包括支援センター所長 松本恵美
日 程 平成26年7月1日から平成26年7月10日
研修先 ドイツ・フランス

(12) 「介護事業あり方等検討委員会」の検討結果に基づく運営強化

- ・ 5月1日に喜多方ケアプランセンターへ熱塩加納ケアプランセンターを統合
- ・ 5月1日に喜多方ヘルパーセンターへ塩川ヘルパーセンターを統合
(塩川支所に塩川サブセンターを設置)
- ・ 5箇所全てのデイサービスセンターにおいて、機能訓練加算を行うための体制を整備

(13) 介護職員初任者研修の実施

本市は介護者の不足が課題となっており、人材育成を図るため介護職員初任者研修を実施した。

期 間 平成26年11月11日から平成26年12月24日（24日間）
受講者 28名
修了者 26名

(14) 実習生の受入れ

- ・ 東北福祉大学 2名（24日間）
- ・ 会津大学短期大学部 2名（23日間）
- ・ 福島介護福祉専門学校 1名（5日間）

2. 福祉のまちづくり事業

(1) 第10回社会福祉大会の開催

市民一人ひとりが社会福祉に対する理解を深め、地域福祉活動がより一層充実されることを目的として、第10回喜多方市社会福祉大会を開催した。

期 日 平成26年11月20日
会 場 喜多方市総合福祉センター・多目的ホール
表 彰 社会福祉大会長表彰 8名、2団体
社会福祉大会長感謝 3名
福島県共同募金会長感謝 15名、10団体、19校
記念講演 父 相田みつをの歩んだ「道」
講 師 相田 一人 氏（相田みつを美術館館長）

参加者数 402名

(2) ふれあい社会福祉講座の開講

社会福祉を正しく見る目と豊かな創造力を養うことにより、社会福祉の進展に資することを目的として、ふれあい社会福祉講座を開催した。

第1講 「日本酒の効能について～健康に繋がる飲酒の仕方～」

講師 会津喜多方商工会議所 会頭 唐橋 幸市郎 氏 (からはし こういちろう)

う)

日時 平成26年7月3日(木) 午後1時30分

受講者数：89名

第2講 「相続と遺言について」

講師 大森登記測量事務所 代表 大森 佳彦 氏 (おおもり よしひこ)

日時 平成26年7月10日(木) 午後1時30分

受講者数：92名

第3講 「地域の見守り・支え合いづくり～東日本大震災から学んだこと～」

講師 福島県社会福祉協議会 地域福祉課長 関 靖男 氏 (せき やすお)

日時 平成26年7月17日(木) 午後1時30分

受講者数：99名

○受講者計 280名

(3) 広報紙『きたかた社協だより』の発行

年4回(5月、8月、11月、2月)『きたかた社協だより』を発行し、社協の事業や福祉に関する情報、各種福祉団体の活動紹介など総合的な福祉情報の提供をするため全戸に配付した。

(4) ホームページの活用

本会の事業内容をリアルタイムに広く市民に周知するため、ホームページを活用し情報の発信をした。

<ホームページアドレス <http://www.kitakata-shakyo.or.jp> (平成19年9月26日開設) >

3. ボランティア事業の推進

(1) ボランティア活動普及事業協力校の指定(24校)

市教育委員会、各学校の協力を得て、心豊かな児童・生徒を育成するためボランティア協力校を指定し、各学校の特色ある福祉教育の推進を支援した。

○市社協の指定校 第一小学校、第二小学校、松山小学校、上三宮小学校、第三小学校、関柴小学校、熊倉小学校、慶徳小学校、豊川小学校、熱塩小学校、加納小学校、塩川小学校、堂島小学校、姥堂小学校、駒形小学校、山都小学校、高郷小学校、第一中学校、第二中学校、第三中学校、

会北中学校、塩川中学校、山都中学校、高郷中学校

(2) 児童生徒の福祉作文集『ちいさなて vol. 10』の発行

市教育委員会及び市内のボランティア協力指校定の協力を得て、児童・生徒の福祉に関する思いや考え、日常や学校でのボランティア体験等を綴った作文を募集し、福祉作文集『ちいさなて vol. 10』を発行した。

・作成配付冊数 650冊

(3) 傾聴ボランティア養成講座の実施

傾聴ボランティアとしての知識と技術の習得を目的に、講座を開催した。

第1講 平成26年 8月 27日(水) 午後 1時30分

講師 会津大学短期大学部 講師 木村淳也氏

内容 よい聴き手になるための傾聴の意味と意義の理解

第2講 平成26年 9月 4日(木) 午後 1時30分

講師 福島いのちの電話 研修委員 田中照子氏

内容 活動内容、専門的手法、傾聴のポイント等

○受講者数(延べ) 58名

(4) 傾聴ボランティア活動に係るコーディネートの実施

介護サービスを利用している高齢者等に対して、孤独感や不安感の軽減と精神的な健康維持の支援を図るため、傾聴ボランティア活動に係るコーディネートをを行った。

傾聴ボランティア登録者数 9名

傾聴活動実績(延べ) 2,305件

(5) ボランティア養成等事業の実施

①サマーショートボランティアスクールの実施

喜多方地区 高校生 13名

熱塩加納地区 小学生 5名、中学生 11名

塩川地区 中学生 4名

山都地区 中学生 3名

②福祉ボランティア事業

一人暮らし高齢者宅訪問ボランティア(熱塩加納地区) 1回実施(18名参加)

(6) 除雪ボランティア事業の実施

除雪作業を支援することにより、高齢者等の精神的・身体的負担を軽減し、地域における支え合い及び福祉の向上を図るため、除雪ボランティア事業を実施した。

地区名	実施日	対象世帯	参加者数	備考
喜多方	1月31日(土)	13世帯	98名	(岩月地区・熊倉)

				地区・関柴地区)
熱塩加納	2月7日(土)	11世帯	100名	
塩川	1月17日(土)	5世帯	73名	
山都	1月31日(土)	10世帯	106名	
高郷	2月21日(土)	4世帯	77名	
合 計		43世帯	454名	

(7) 視覚障がい者を対象にした『声の広報』の編集・発行

朗読ボランティア「せきれいの会」の協力を得て、ボランティア会員が総合福祉センター録音室で、広報きたかたを朗読しテープに録音したものを、『声の広報』として希望者に郵送した。

○毎月1回・利用者 9名 朗読ボランティア 12名

(8) 点訳ボランティアの養成

点訳サークル「eyeの会」では定期的に点訳の勉強会等を実施した。

○毎月1回・会員数7名

○講習会 第一小学校点字講習会 1回

塩川小学校点字講習会 1回

(9) 災害支援活動

福島県社会福祉協議会からの要請に応じ、山形県南陽市豪雨災害の支援として、職員を派遣した。

平成26年7月17日から平成26年7月18日 2日間

派遣職員 2名

4. 地域福祉事業

(1) 心配ごと相談所の開設

市民の日常の心配ごと、困りごとの相談を受けることにより、市民一人ひとりが安心して暮らせる地域社会づくりに寄与するため、本・支所において心配ごと相談所を開設した。

<相談内容別内訳>

○生活費に関すること 52件 ○年金に関すること 3件

○家族関係に関すること 1件 ○就労に関すること 3件

○医療に関すること 5件 ○生活全般に関すること 6件

○その他 23件 計 93件

(2) ふれあいネットワーク事業(支部社協事業)

ひとり暮らし高齢者を対象として生活支援活動や見守り活動を行う「ふれあいネッ

トワーク事業」を実施した。

ネットワーク件数	23件	慶徳地区 13件 熊倉地区 2件	松山地区 8件
活動延べ件数	7,525件	慶徳地区 4,401件 松山地区 2,686件 熊倉地区 438件	

(3) 「ふれあいいきいきサロン」の開設（30箇所）

高齢者の交流を深め、助け合い・支え合いながら健康で楽しい生活を送っていただくことを目的に「ふれあいいきいきサロン」の開設と運営を支援している。

サロ ン 名	地区名	サロ ン 名	地区名
松が丘いきいきサロン	喜多方	吉志田いきいきサロン	喜多方
桜ガ丘いきいきサロン	喜多方	村松三区いきいきサロン	喜多方
清水台いきいきサロン	喜多方	関柴地区いきいきサロン	喜多方
東四ッ谷いきいきサロン	喜多方	ひばりが丘いきいきサロン	喜多方
上三宮二区いきいきサロン	喜多方	渋井いきいきサロン	喜多方
寺町いきいきサロン	喜多方	花園いきいきサロン	喜多方
一ノ堰二区いきいきサロン	喜多方	譲屋いきいきサロン	喜多方
新 桜町ふれあいサロン	喜多方	菅原町ニューサロン	喜多方
針生ひだまりサロン	熱塩加納	野辺沢いきいきサロン	熱塩加納
新崎いきいきサロン	熱塩加納	柴城地区いきいきサロン	塩川
上窪地区いきいきサロン	塩川	別府いきいきサロン	塩川
塩川地区いきいきサロン	塩川	新 河原田いきいきサロン	山都
新 広野いきいきサロン	山都	新 藤沢いきいきサロン	山都
新 ふなひいきいきサロン	山都	新 小布瀬原いきいきサロン	山都
新 千咲原いきいきサロン	山都	新 西黄地区いきいきサロン	高郷

(平成26年度は新規に8ヶ所のいきいきサロンが開設された。)

○ふれあいいきいきサロン世話人連絡会の開催

日 時 平成27年3月4日

内 容 サロン活動推進に係る関係機関との打合せ

(4) 日常生活自立支援事業

日々の生活に不安を抱える高齢者や障がい者の方々が安心して暮らせるために、金銭管理等を行う日常生活自立支援事業を積極的に推進した。

年度末契約件数 3件

(5) 生活福祉資金（離職者支援資金）の貸付

他からの融資が難しい世帯に対し、県社協の資金である生活福祉資金貸付けの手続きを行い、必要な援助指導を行った。

平成26年度新規貸付件数 6件（940,000円）

(6) 小口生活援助資金の貸付

低所得者の緊急な経済的問題を解決し、安定した生活が送れるよう資金を貸し付け、必要な援助指導を行った。

貸付件数 23件（1,090,000円）

(7) 高額療養費の貸付

高額療養費支払いに困窮する者に対し資金を貸し付け、その世帯の経済的自立を助長し、生活の安定を図った。

貸付件数 51件（2,201,021円）

(8) おもちゃ図書館の運営

全ての子供達が、おもちゃや本を通して人間性豊かに成長することを支援するとともに、保護者に交流の場を提供した。

本所	年間利用人員延	5,752名	開館日数	72日
熱塩加納支所	年間利用人員延	166名	開館日数	12日
塩川支所	年間利用人員延	665名	開館日数	45日
山都支所	年間利用人員延	379名	開館日数	17日
高郷支所	年間利用人員延	169名	開館日数	15日
	計	延7,131名	計	171日

(9) 子育て支援事業の実施

・ミニサロン(ハビーマッサージ教室)	平成26年9月16日	26名参加
・ミニサロン(忍者になろう)	平成26年10月24日	94名参加
	平成26年10月31日	91名参加
	平成26年11月18日	84名参加
	計	295名参加

(10) 高齢者生産活動センターの管理運営

「高齢者生産活動センター」を拠点とし、高齢者のコミュニティが一層拡大されるよう利用者の加入促進及び各グループの技術向上を図りながら、生産性の向上、販売先の開拓に取り組んだ。

また、センターまつりの開催、アートぶらりーへの参加、更には、ふれあい作品展や体験教室指導、各種イベントでの出店を行い生產品の販売と、会員募集、事業

活動のPRに努めた。

1) 各グループ活動

登録者数 168名

年間延活動人員及び延活動日数 8,407名 / 658日

<内訳>

項目	グループ等名	登録人数	年間延活動人員	延活動日数
グループ活動	手芸グループ	31名	1,30名	45日
	陶芸グループ	60名	3,524名	184日
	菌茸グループ	16名	329名	35日
	園芸グループ	7名	397名	120日
	織物グループ	31名	961名	44日
	押し花絵グループ	11名	263名	29日
	わら工芸グループ	12名	867名	97日
グループ活動計		168名	7,671名	554名
その他の活動	パソコンクラブ		120名	23日
	土根壤耕遊塊		115名	38日
	イベント等全体活動		501名	43日
その他の活動計			736名	104日

(11) 高齢者生きがい対策事業の実施

○陶芸教室の開催

高齢者のいきがいつくりの一環として塩川地区と山都地区において陶芸教室を開催した。

塩川地区 会員数34名 延べ 570名 / 84日

(体験講習 2回※団体の受入)

山都地区 会員数11名 延べ 142名 / 30日

○一人暮らし高齢者等支援事業

料理教室(熱塩加納地区・市役所との共催) 2回開催(延べ25名参加)

閉じこもり予防事業<小旅行>(塩川地区) 1回開催(11名参加)

外出支援事業<集合昼食会>(山都地区) 1回開催(12名参加)

外出支援事業<ぶどう狩り>(山都地区) 1回開催(20名参加)

外出支援事業<芝居観劇>(山都地区) 1回開催(15名参加)

友愛訪問<Xmas ケーキ・カード配布>(山都地区) 1回開催(54名)

集合昼食会事業(高郷地区・赤十字奉仕団共催) 1回開催(14名)

買物支援事業(高郷地区・民生児童委員共催) 1回開催(13名)

友愛訪問:弁当配食事業（高郷地区・赤十字奉仕団共催）年1回（44食）

(12) 児童館運営事業への協力

父母の共働きや疾病、その他の理由により十分な保護育成ができない世帯等の児童に、健全な遊びや運動・製作活動・社会研修等を体験させる児童館運営事業に、児童厚生員を配置しその運営に協力した。

（平成27年3月末現在）

児童館名	登録児童（幼児・学童）数	年間受入人数 （延べ）
中央児童館	70名	13,947名
上三宮児童館	19名	2,556名
岩月児童館	31名	5,253名
関柴児童館	30名	6,978名
熊倉児童館	49名	8,500名
慶徳児童館	31名	6,237名
豊川児童館	58名	11,229名
喜多方児童クラブ館	98名	20,198名
松山児童クラブ館	39名	8,052名
しきみ児童クラブ館	36名	8,212名
計	461名	91,162名

（※喜多方地区内の児童館について市より一部受託）

(13) 支部社協活動の推進

安心して暮らせるまちづくりの形成を地域全体で推進していくための支部社協活動の推進に協力した。

支部名	設立年月日	支部名	設立年月日
慶徳支部	平成9年8月24日	関柴支部	平成12年3月12日
松山支部	平成10年3月14日	熊倉支部	平成13年10月10日
岩月支部	平成11年2月11日	上三宮支部	平成17年9月7日
豊川支部	平成11年7月21日		

(14) 福祉団体の育成支援

少子高齢社会の急激な進行と地域における連帯感の希薄化が進んでいる今般の現状を踏まえ、市民主体の活動を支援するため市内で活動している福祉団体の事務局として、育成支援を図った。

- 1) 民生児童委員連合会
- 2) ふれあい福祉協議会
- 3) 老人クラブ連合会
- 4) 赤十字奉仕団
- 5) 日本赤十字社有功会
- 6) 手をつなぐ親の会

- 7) 身体障がい者福祉会 8) 福島いのちの電話 9) 瓜生岩子刀自顕彰会
- 10) 更生保護協議会 11) 遺族会連絡協議会
- 12) その他の福祉関係団体

(15) 家族介護者交流事業の実施

介護をされている方々を対象に、心身の負担軽減と同じ介護者同士の交流を図ることを目的に家族介護者交流事業（リフレッシュ事業）を実施した。

- ・日帰りリフレッシュ事業（平成26年10月15日）
参加者：18名 行き先：新潟県寺泊方面
- ・一泊リフレッシュ事業（平成26年10月23日～24日）
参加者：26名 行き先：宮城県松島方面
- ・交流会事業（平成26年12月9日）
参加者：7名 会場：塩川保健福祉センター「いきいきセンター」

(16) 生活困窮者自立支援法に関する調査研究

平成27年4月施行の生活困窮者自立支援法に関し、調査研究を行うため福島県並びに福島県社会福祉協議会主催による各種研修会・説明会に出席するとともに、喜多方市との連絡調整を図った。

(17) 福祉教育等への協力

市内小中高校で行われた福祉教育に関する授業及び、各種集会においての福祉に関する知識を深めていただくため、職員を講師として派遣した。

項 目	派遣職員数	開催回数
高校生を対象とした高齢者疑似体験等	3名	2回
中学生を対象とした高齢者疑似体験	3名	1回
介護職員初任者養成研修（耶麻農業高校）	7名	16回
家庭看護・福祉実習	1名	14回
高齢者サロンでの福祉講座	6名	6回
老人クラブでの福祉講座	3名	3回
その他の団体での福祉講座	1名	1回

(18) 福祉バスの運行

市民の福祉向上に寄与するため、福祉バスを運行した。

運行日数 延 169 日（運行台数3台）

(19) 車椅子貸し出し事業

高齢者や障がい者の家族旅行や外出など短期間の車椅子使用に対応するため、貸出し（無料）を行った。

貸出件数 87件

(20) NPO 法人日本入れ歯リサイクル協会への協力

不要になった入れ歯を回収し、精製した貴金属をユニセフ募金を通して世界の子どもたちのために役立てる活動に協力した。

精製貴金属量 10.5g (12,315円)

5. 東日本大震災・福島第一原子力発電所事故避難者に対する支援

(1) 大熊町からの避難者のつどい「喜多方のつどい」への協力

大熊町から喜多方市に避難されている方を対象に、情報交換や閉じこもり防止、心配ごと相談、軽体操やレクリエーションの実施などを目的に月1回、総合福祉センターで開催されている「喜多方のつどい」の運営に職員が協力している。

(2) 避難者健康相談会への協力

福島県会津保健福祉事務所並びに富岡町が主催する健康相談会（各月1回）の運営に職員が協力した。

6. 共同募金・歳末たすけあい運動への協力

行政区長会、民生児童委員協議会を始め多くの市民の協力を得て、民間社会福祉事業の財源となっているこの運動に精力的に協力した。

共同募金実績 8,443,334円

歳末たすけあい募金実績 4,655,829円

○街頭募金の実施

喜多方地区 3ヶ所 ヨークベニマル喜多方店、コープあいづBESTAひがし店、
リオンドール喜多方西店

塩川地区 1ヶ所 コープあいづバリューしおかわ店

高郷地区 1ヶ所 高郷公民館（文化祭イベント会場）

※募金ボランティア参加者 小学生 2名、中学生 3名、高校生 10名、
一般22名 計 37名

7. 日本赤十字社への協力

人道・博愛を目的とした日本赤十字社への協力を図った。

社資実績額 6,825,009円

AED（自動体外式除細動器）を配置している施設 6施設

8. 福祉施設の運営管理

(1) 喜多方市総合福祉センターの管理運営

総合福祉センターの管理については、その目的達成のため最良な管理に努めた。また、高齢者福祉センターについては、高齢者の憩いの場として、また各種会合などに市民の方々から広く利用された。

高齢者福祉センター年間利用人員 32,846名(開館日数 307日)
多目的ホール貸出回数 325回(利用者数 14,351名)
会議室貸出回数 211回(利用者数 3,641名)

(2) 熱塩加納保健福祉センター「夢の森」の管理運営

市内で開催されたイベント等でのパンフレット配布、観光案内所、道の駅、コンビニエンスストア等にパンフレットの設置、更には、近隣の道路にのぼりを立てるなどし、誘客に努めた。

保養施設(温泉入場者) 営業日数 297日 延利用者数 73,450名
運動施設(ゲートボール場) 利用日数 116日 延利用者数 1,129名
送迎車の運行 延日数 36日 延べ利用者数 599人

(3) 塩川保健福祉センター「いきいきセンター」の管理運営

パンフレットを作成し各種イベントで配布するなど誘客に努めた。

また、キッズスペースを設置し子ども連れでゆっくりと利用していただけるよう環境整備を図った。

保養施設(温泉入場者) 営業日数 305日 延利用者数 21,404名
巡回福祉バス運行 100日(毎週水・木曜日) 延べ利用者数 1,513人

(4) 生活支援ハウス事業

一人暮らし高齢者等を対象として、安全で安定した生活の場を提供し、自立の支援を図った。

- 山都生活支援ハウス 10部屋 4名入居(3月末現在)
- 高郷生活支援ハウス 7部屋 2名入居(3月末現在)

9. 在宅福祉サービス事業の健全経営

(1) 居宅介護支援事業所3事業所、訪問介護事業所2事業所、通所介護事業所5事業所、訪問入浴事業所1事業所を運営し、利用者のニーズに応えるため、部門間の連携、財務体質の改善等を図りながら事業所の健全な経営に努力した。(別紙1)

(2) 在宅介護者教室の開催

市民の方々に対し在宅介護の知識と技術を習得していただくため、在宅介護者教室を開催した。

塩川会場 平成26年10月25日 13名受講

10. 包括的支援事業の推進

地域包括支援センターを拠点として、高齢者が住み慣れた地域で要介護状態にならないよう予防対策を講じる包括的支援事業を積極的に推進した。

また、認知症高齢者の増加に伴い喜多方市高齢福祉課と連携を図り、認知症サポータ

一養成講座(オレンジ・スマイル2014)開催への協力や、総合相談の対応についても利用者・家族の要望に応じ相談できる体制作りを図った。(別紙2)